

神戸市からのお知らせ

地震に備え耐震改修工事をしましょう

南海トラフ地震が発生する確率は、今後30年で約70%と予測されており、地震に備えるために住宅の耐震化が大変重要です。阪神・淡路大震災では、瞬時に住宅が倒壊し、その下敷きになって亡くなった方が全体の約8割を占めました。

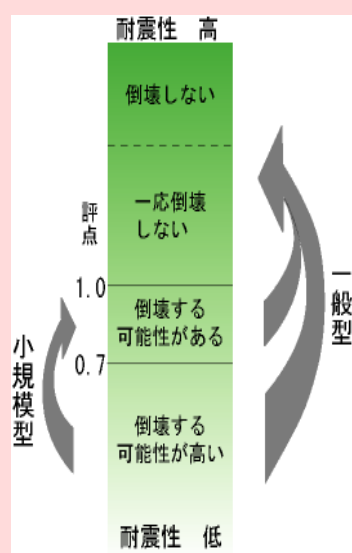
昭和56年5月以前に建てられた住宅は、旧耐震基準で建てられているため、地震に弱い場合がありますので、神戸市の無料耐震診断を受けてご自宅の耐震性能を確認しましょう。

耐震診断の結果、耐震性能が不足している場合は、耐震改修を行う必要があります。改修のための設計・工事には費用がかかりますが、神戸市では補助制度により支援をしています。

平成26年度より、少ない費用で耐震改修ができる「小規模型 設計工事パック」ができました。
(裏面をご覧ください)

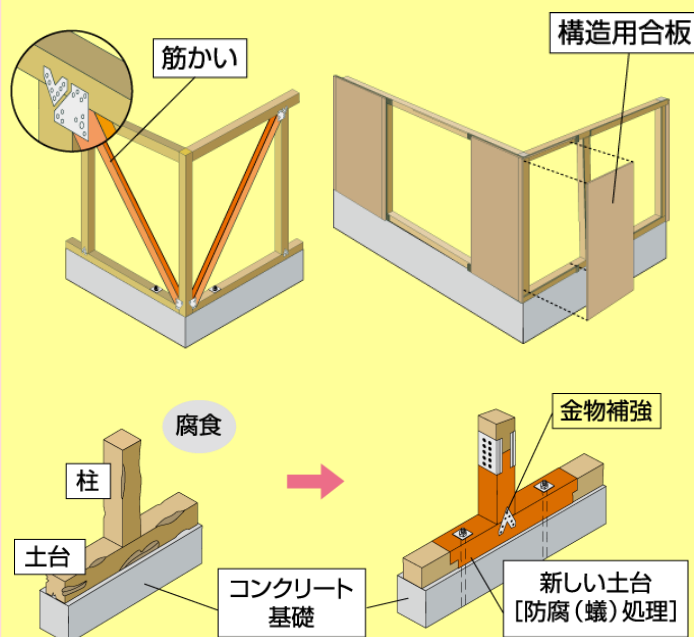
耐震改修工事で地震に対する安全性を高めます

「評点」地震に対する安全性の目安 (震度6強から7のとき)

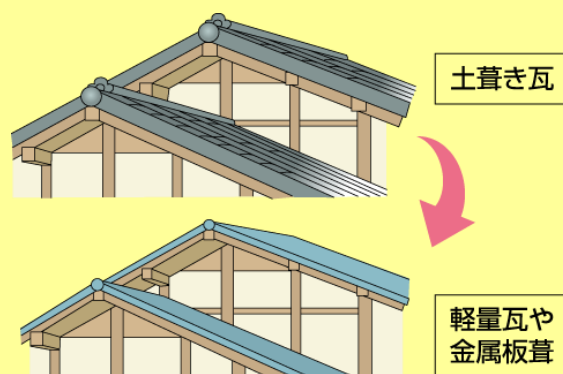


改修工事をするにより、地震に対する安全性の目安である「評点」が上がります。

耐震改修工事はこのような工事をします



施工例



(裏面をご覧ください)

耐震改修補助〔小規模型 設計工事パック〕

少ない費用で耐震改修ができる制度です

●小規模型 耐震改修とは？

耐震診断を受け、瞬時に倒壊に至らない程度の耐震改修（改修後の上部構造評点が0.7以上）をする方に、改修設計費及び改修工事費の一部を補助します。できる限り改修の費用を抑えたい方に向く制度です。

※評点 1.0 未満の改修の場合、税制上の優遇措置は受けられません。



●設計工事パックとは？

耐震改修は、まず耐震改修設計を行い、それに基づいて耐震改修工事を実施します。設計工事パックは小規模型の設計と工事をセットで実施する場合の補助制度です。設計と工事の合計費用が 118 万円以上の場合、定額107万円の補助となり、少ない負担で改修できます。

	耐震改修補助 小規模型 設計工事パック
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市内に対象となる住宅を所有する方（個人） ・所得 1,200 万円以下の県民 ・兵庫県住宅再建共済制度に加入している方または加入する方
対象住宅	<p>下記のすべてを満たす木造戸建住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年5月31日以前に着工されたもの ・違反建築物に対する措置が命じられていないもの ・改修前の耐震診断の結果、全体の上部構造評点が 0.7 未満であるもの <p>※賃貸住宅、店舗併用住宅（住宅用途の部分が延べ面積の半分以上を超えているもの）を含む</p>
対象費用	耐震診断、改修後の上部構造評点が 0.7 以上となる耐震改修設計および耐震改修工事に要する費用の合計（総額 50 万円以上のものに限る）
補助金額	対象費用の 9 / 10 または 107 万円のうち低い額

耐震シェルターの設置にも補助があります。補助対象となる耐震シェルター工法が、新たに拡がりました。詳しくは神戸市のホームページをご覧ください。

☞“神戸市耐震化”で検索

お問合せ・お申込は…**神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）**まで

営業時間：10：00 ～ 17：00 土・日・祝日も営業（水曜日定休）

〒651-0096 神戸市中央区雲井通 5-3-1

サンパル4階（JR 三ノ宮駅東徒歩5分）

TEL：078-222-0186

FAX：078-222-0106

